



回答率：保護者78.5%、児童100%、教職員100%

学校教育目標

| 1 教育方針・目標の理解 | 2 意欲的な学校生活 | 3 教師の連携協力 |
|--|------------------------------------|---------------------------------------|
| <p>学校は、児童や保護者に学校の教育方針や教育目標を分かりやすく示していると思いますか。</p> | <p>子供たちは、充実した学校生活を送っていると思いますか。</p> | <p>全職員で、連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。</p> |
| <p>考察 【1】「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の肯定的な回答が、教職員96%、児童91%、保護者89%で、昨年より肯定的な回答が増加している。更なる浸透を図る上で、これまで取り組んできた各種式やPTA総会での校長講話、学校便り（地域への配布）、学校ホームページによる啓発の他、学校教育目標をもとに設定した学級目標の振り返りを児童に随時行わせたり、その様子を学級便りに掲載したり、学級懇談会で話題にしたりしたい。 【2】肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者94%で高かった。今後も「子供が主役」として位置づけ、主体的・対話的で深い学びの授業実現や「認め・誉め・励まし・伸ばす」指導の継続を図ってきたい。 【3】肯定的な回答率が、教職員96%、保護者90%で高かった。今後も学校教育目標の具現化や様々な課題に対し、「チーム学校」として組織的に取り組んでいきたい。</p> | | |

教科指導について

| 4 授業づくりの工夫 | 5 意欲的な学習態度 | 考察 |
|--|------------------------------------|--|
| <p>学校は、わかる授業、丁寧な授業づくりに努めていると思いますか。</p> | <p>子供たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p> | <p>【4】肯定的な回答が、教職員100%、児童92%、保護者88%で昨年度より増加したが、学力向上は、学校教育の重要課題であることから、今後一層教師一人一人が自覚と責任をもち取り組んでいくことで高めていきたい。 【5】肯定的な回答が、教職員96%、児童92%、保護者88%で昨年度より増加したが、上記同様重要課題であることから、今後一層教師の魅力ある授業づくりと、教師と保護者の認め・誉め・励まし・伸ばす指導の継続に期待したい。</p> |

道徳教育 心の教育について

| 6 道徳、心の教育の充実 | 7 あいさつ、礼儀の励行 | 考察 |
|--|----------------------------------|---|
| <p>学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。</p> | <p>子供たちは、挨拶がきちんとできていると思いますか。</p> | <p>【6】肯定的な回答が、教職員92%、児童89%、保護者89%で高かったが、楽しい学校づくり（いじめの根絶）のために、今後一層特別の教科「道徳」の指導の充実や実践化、家庭（日常的な会話等）・地域（体験的活動の充実等）と連携をとって推進したい。 【7】肯定的な回答が、児童100%に対し、職員94%・保護者84%と差が見られた（「そう思う」の回答では顕著）ことから、よりよい挨拶や礼儀作法を大人が示す（率先垂範）中で教えていく必要性を感じる。家庭や地域での啓発に務めていきたい。</p> |

人権教育について

| 8 一人一人の児童の尊重 | 9 友達への思いやり |
|--|--------------------------------|
| <p>学校は、一人一人の子供を大切にしている指導や対応ができていると思いますか。</p> | <p>子供たちは、友達と仲良くしていると思いますか。</p> |
| <p>考察 【8】肯定的な回答が、教職員96%、児童98%に対し、保護者が87%にとどまったことから、全職員による児童理解の深化及びより丁寧で一人一人に応じた指導を心がけたい。また、児童や保護者の相談体制の推進や関係機関との連携も図りたい。 【9】肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者95%で高かったが、「あなたは友達と仲良くしていますか」の問いに3%の児童が否定的な回答をしていたことを重く受け止め、今後一層の人権同和教育の推進を図り、思いやりや協調性、自己肯定感、自己有用感等を育成したい。また、「認め・誉め・励まし・伸ばす」教育を家庭とともに推進したい。</p> | |

学校行事について

| 10 学校行事等の工夫 |
|--|
| <p>学校は、学校行事（運動会など）が工夫されていると思いますか。</p> |
| <p>考察 【10】肯定的な回答が、教職員100%、児童97%、保護者91%で高かったが、9%の保護者が否定的であったことから、今後、新しい生活様式の中、行事の精選や統合、廃止等を図る中で、本校の魅力（児童の頑張り）を発信していきたい。</p> |

生徒指導 教育相談について

| 11 児童理解 | 12 規範意識 | 13 いじめや問題への対応 |
|--|----------------------------------|--|
| <p>学校は、子どものよさを見つけ、子どものことを理解しようとしていると思いますか。</p> | <p>子供たちは、規則やマナーを守っていると思いますか。</p> | <p>学校は、いじめや問題があったとき、すぐに対応していると思いますか。</p> |
| <p>考察</p> <p>【11】 肯定的な回答が、教職員100%、児童96%、保護者93%で高かったが、否定的な回答が児童に4%、保護者に7%あったことから、今後一層「児童の側」から指導の在り方を見直し。児童の良さを発見し、「認め・ほめ・励まし・伸ばす」指導を全職員で実践したい。</p> <p>【12】 肯定的な回答が、児童91%、保護者93%が高かったが、教職員89%とやや低い結果となった。これは、学校内では、ルール違反による事故があったこと。学校外では、自転車等の登下校でのマナー違反があったからであると推察される。今後も規範意識の高揚やマナーの向上に家庭や地域と連携して努めたい。</p> <p>【13】 肯定的な回答が、教職員100%、児童98%と高かったが、保護者は83%にとどまったことから、これまで行ってきたいじめの未然防止や早期発見（年4回のアンケート調査や日常的な児童観察）、早期対応（児童との個人面談や教育相談の実施）、チーム対応（関係機関等と連携）などをより推進・徹底するとともに、保護者との相談体制の整備も取り組みたい。</p> | | |

健康教育 安全について

| 14 安全と事故防止 | 15 体力向上 | 考察 |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|
| <p>学校は、子供の安全と事故防止に努めていると思いますか。</p> | <p>子供たちは、すすんでスポーツなどを行っていると思いますか。</p> | <p>【14】 全体的に肯定的な回答が多かったが、6%の児童、10%の保護者が事故防止に努めていないと回答したことを重要視し、これまでの取組である交通安全教室や各学級での継続的な指導の他、保護者や地域の方々と連携した見守り活動等も促進したい。</p> <p>【15】 児童17%、保護者33%が否定的な回答であったことから、新しい生活様式に合わせた体育の充実や外遊びの奨励、始業前のランニング、児童会主催の各種スポーツ大会等を通じた体力向上を図ってきたい。</p> |

学校環境について

| 16 環境の整理・美化 | 17 施設・設備の安全管理 | 考察 |
|--|---|---|
| <p>学校は、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。</p> | <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> | <p>【16】 肯定的な回答が、教職員100%、児童98%、保護者99%でとても高かった。今後も無言清掃の深化や花壇の整備、校内掲示物の整理等に取り組んでいきたい。</p> <p>【17】 肯定的な回答が、教職員93%、児童99%、保護者99%でとても高かった。今後も毎月全職員で実施している校内安全点検の徹底や日常的な危険箇所の確認（ヒヤリ・ハット報告）等に努めたい。</p> |

情報の公開・発信について

| 18 学校の予定等がわかる情報発信 | 19 教育活動への参加 |
|---|---|
| <p>学校の情報は、文書（学校便り等）やホームページ等で、十分に発信されていると思いますか。</p> | <p>学校が公開している教育活動（行事等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。（分かる範囲で記入ください）</p> |
| <p>考察</p> <p>【18】 肯定的な回答が、教職員100%、保護者86%で保護者の肯定的な評価が若干低かった。今後も学校ホームページで1年間の行事等予定や児童の様子等を随時掲載したり、各種便り（学校・学級・保健・給食など）で様々な情報を発信したりしたい。また、学校だよりに関しては、金剛コミュニティセンターを通じて各地区へ毎月配布し、啓発を図ってきたい。</p> <p>【19】 肯定的な回答が、教職員88%、保護者82%と若干低い数値となった。このことは、新型コロナウイルス感染予防のため、各行事が中止となったことと関連が深いと考える。今後、PTA本部役員と連携し、児童の活動を中心に考えるとともに、なるべく多くの方のニーズに対応した行事等を企画・運営していきたい。</p> | |

家庭・地域の連携について

| 20 家庭や地域との連携協力 |
|--|
| <p>学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。</p> |
| <p>考察</p> <p>【20】 肯定的な回答が、教職員96%、保護者85%と保護者の評価が若干低かった。今後、教職員一人一人が課題意識を持って、「地域（家庭）とともにある学校づくり」に取り組みたい。</p> |

来年度の具体的な取組について(今年度否定的な回答が多かった事項を中心に)

- 【教育方針・目標の理解】 学校教育目標の周知徹底とその具現化に向けた家庭や地域との連携教科
- 【道徳教育、心の教育の充実】 全教育活動での「思いやり、ありがとう、おかげさま、おたがいさま」の心の育成及び家庭との連携
- 【挨拶・礼儀の励行】 あいさつ・礼儀作法に関する大人の率先垂範による励行
- 【規範意識】 実社会においても通用する規範意識の育成
- 【いじめや問題行動の対応】 「いじめは絶対に許されない」心と態度の育成及びいじめに対するチーム対応の徹底
- 【体力向上】 体力向上及び体力の二極化是正、魅力ある遊びや運動の奨励